



R7.10月
第585号

掛川市幼児ことばの教室(掛川教室・大東教室) こども発達センター みなみめばえ

こんにちは！掛川市幼児ことばの教室

です!!

掛川市幼児ことばの教室は、北部に「掛川教室」(職員5名・昭和63年4月開設)南部に「大東教室」(同2名・平成15年4月開設)と、市内に2教室設置されています。

掛川市幼児ことばの教室の特色として、20年余り前から「4歳児ことばの一斉検査」を行っています。市内に在園している4歳児800人余り(北部園650人程度、南部園150人程度)を、担当する教室の職員がスクリーニングをするものです。発音の誤りや語いの少なさを統一された基準で評価し、ことばの課題を適切な時期に見つけることを目的としています。最近では、外国にルーツのある児が増加傾向にあるので、一斉検査時には通訳同席のもと、母語や日本語の育ちを正しく理解しようと努めています。

幼児期の経験は、発音やことばの獲得に深く関係しているものです。私たちは、指導時だけではなく、来た時や帰る時も複数の指導員が関わっています。あいさつやことばを交わす中で、児の発音の様子やことばの成長を、共通理解することを大切にしています。通級している子どもたちには、ことばの教室での経験と成長を糧に、ますますの自信をつけていってくれることを願っています。

今後も保護者の思いに寄り添い、在籍園と保護者をつなぐ橋渡し役として、頑張ります！



〈掛川教室の掲示〉

構音方法は2つ！
“閉じるか！” “狭めるか！”



狭めて【細く長く】
息を出すよ！



洗濯ばさみの先にはいろんな形○△□
紙を開くとクイズが書いてあるよ！
指先に力を込めて、
洗濯ばさみを頑張って開くよー

こんな*手作り教材*
使っています！

夢中で遊ぶ中で
お話をすることを
楽しんでくれるといいな！



「からすのせっけん」
カップ人形劇



お店屋さんごっこや
おうちごっこにを使って
会話を引き出します！

やってみよう！



ペアになるカードを探すよ！
なんでペアになるか、説明できるかな？

概要

こども発達センターみなみめばえは児童発達支援センターとして毎日通園、親子通園、並行通園、保育所等訪問支援事業を行っており、地域の発達支援などのニーズに対する療育支援を展開しています。また、巡回支援専門員整備事業として市で健診後の親子への関わりとして行われている個別の発達相談や親子教室に参加しています。様々な職種の職員が従事しており、保育士や社会福祉士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師などの専門職がチームで支援に当たっています。



その中で言語聴覚士は言葉に遅れや不明瞭さがあることに対して指導を行うことばの教室、家庭や療育の中で活かせる言葉掛けやコミュニケーション方法を保護者と共有するST相談、偏食や過敏さ、口腔機能に未熟さがあることもたちに対して食形態を調整し、必要に応じて通院先に現在の食事の様子を報告する食事支援を行っています。

食事支援

みなみめばえの毎日通園では、口腔機能の発達段階に応じた食事支援や偏食の対応を実施しています。また一人ひとりが安心して楽しい食事時間を過ごせるように、個々に合わせた食形態の給食を提供しています。親子通園では言葉と食事の繋がりについての座談会や家庭からお弁当を持参してもらい、食べる様子を見ています。食べるスピードや噛む様子を見たり、家庭での困り感を聞いていく中で支援方法を伝えています。（例：噛む回数が少なく、丸のみになっている。⇒スティックライスで、奥歯で噛む経験を促す等）



毎日通園 食事支援場面

去年はペーストやムース食を舌で押しつぶして食べてたAちゃんが、経験する中で舌を左右に動かして、奥歯に食べ物を送り、噛んでいます！今年になってからは通常食を完食するようになりました🌟
口へ運ぶ時に「やきそばだよ」と伝えたり、「おいしいね」とお話をし、食事の時間を楽しむ事も大事にしています♡